




# 進路通信 (3 学年)

山形県立長井高等学校 進路課  
令和3年6月9日発行 No.3

## □■3年最初の模試 6月進研マーク■□

今年度1年間の模試の流れ  マーク式  記述式  希望者



上の模試の流れで今年度1年間の模試の重要性を認識し、それぞれの模試に対して準備を万全にして臨んでいこう。以下に今回の6月マーク模試に向けてのポイントをいくつか挙げておきます。

- ☆ポイント① 共通テストの出題範囲は主に高校2年生までに学習した内容です。  
今回の模試は2年生までに学んだことをどこまで理解できているかを把握して、今後どの科目・どの分野を重点的に学習するのかを計画立てるために極めて重要です。共通テストは「高校1・2年生の教科書をすらすらと理解できる」人であれば高得点が期待されるように作成されています。

☆ポイント② 文系の地歴公民・理系の理科は連続で2科目を受験します。  
 2科目のうち、どちらを先に受験するのも受験科目に関わってくるので、自分の志望大学の受験科目をよく調べておくことが大切です。  
 最初60分で受ける科目→第1解答科目  
 次の60分で受ける科目→第2解答科目 といいます。  
 大学によっては第1解答科目に指定があります。

☆ポイント③ 自己採点ミス・マークの記入ミスをなくすように最善を尽くす！

■マーク試験で起こりやすい記入ミス

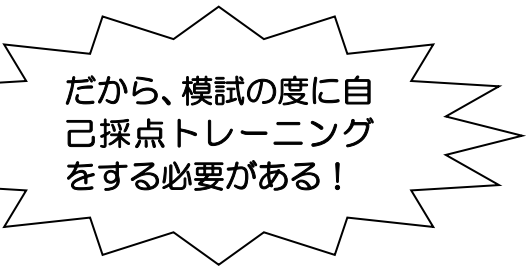
受験番号を マークし忘れた	科目選択欄に マークし忘れた	選択問題の解答欄を 間違えた	途中から一段ずれて マークしてしまった	マークをきれいに 消していなかった
0点になることがあるので、問題を解く前にしっかりマークすること。		問題を解く前に、自分が解く問題の解答欄を確認すること。	大量失点につながるミスだ。解答欄の番号をよく確認すること。	マークを塗り直す場合は、前のマークを確実に消してから行うこと。

■本番での自己採点ミスの影響は？

▼自己採点と実際の得点に誤差があると……

ある志望校の判定基準
A 680点～
B 650～679点
C 630～649点
D 610～629点
E ～609点

自己採点結果 655点⇒ **B判定**  
 ↓  
 ↓ **しかし、実際は30点の誤差**  
 ↓  
 実際の得点 625点⇒ **D判定**  
 合格可能性は大幅にダウン！



■自己採点のために必ずすべきこと

問題冊子に必ず解答を控えておこう！

- ① まず問題冊子に解答し、その後、大問ごとにマークシートに転記する。  
(各教科の指示に従うこと)
- ② マークシートの解答を修正した場合は、同時に控えた解答も修正する。

☆ポイント④

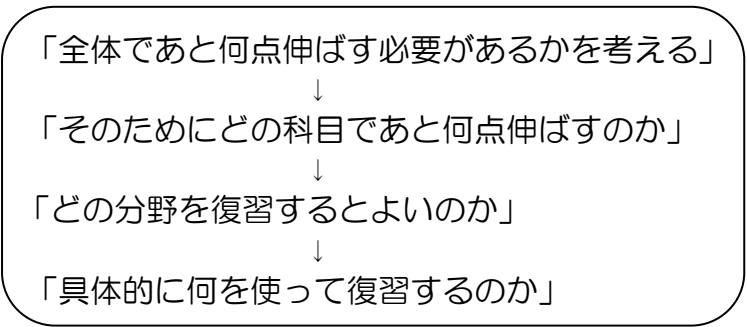
模試受験後の復習と学習計画の作成

模試を受験することの最も重要な目的は

**理解不十分な分野を確認→徹底して復習→次の模試で再び確認**

**模試受験後の復習をしなければ、模試を受験する意味は半減します。**

自己採点の結果をもとに、共通テストまでに



の計画を立ててみよう！ 健闘を祈る！

▼解答控例

**数 学 I**  
(全問必答)

第1問 (配点 40)

(1) 2次関数  $f(x) = x^2 + 2ax + 6a - 9$  がある。ただし、 $a$  は  $a < 3$  を満たす定数である。  
 $f(-3) = \boxed{7}$  である。  $f(-3) = (-3)^2 + 6a + 6a - 9 = 9 - 6a + 6a - 9 = 0$

(2)  $f(x)$  の最小値を  $m$  とすると、  
 $m = -a^2 + \boxed{1} a - \boxed{9}$  である。  
 $f(x) = (x+a)^2 + 6a - 9 - a^2 = (x+a)^2 - a^2 + 6a - 9$   
 $m = -a^2 + 6a - 9$

(数学I第1期は次ページに続く。)

みんなは「頑張ろう」という気持ちは持っている。大切なのはただ頑張るのではなく①「いつまでに」②「どの分野を」③「どのように」学習するのが重要です

[例] “夏休みが始まる前まで” に “数学の三角関数の分野” を “教科書の例題・節末問題を” もう一度解いて復習する